



こたえ合わせ



第1問

答え：2番「疫病や災いを払いのける祈りのお祭り」

解説：夏祭りの起源は、夏に流行する疫病や災いを神様に払ってもらうための「祇園祭(ぎおんまつり)」のような御霊会(ごりょうえ)や、穢れを祓う禊(みそぎ)の行事にあります。農業の豊作祈願は秋祭りが中心で、夏祭りは主に病や災厄を除ける意味合いが強いお祭りでした。

第2問

答え：2番「祖先の霊を慰め、送り出すための踊り」

解説：盆踊りはお盆に帰ってきた祖先の霊を慰め、あの世へ無事に送り返すために踊られたのが始まりです。念仏を唱えながら踊る「念仏踊り」が起源とされており、仏教の影響を強く受けた行事です。現在は地域の親睦を深める行事として親しまれています。

第3問

答え：2番「8月」

解説：花笠まつりは毎年8月5日・6日・7日に山形市で開催される東北を代表するお祭りの一つです。「ヤッショ、マカショ」の掛け声とともに、花笠を手に踊る華やかなパレードで知られています。東北三大祭り(青森ねぶた・秋田竿燈・仙台七夕)に続く大きなお祭りです。

第4問

答え：2番「砂糖を煮詰めた飴」

解説：りんご飴の赤いコーティングは、砂糖と水、食紅を合わせて高温で煮詰めた「飴」です。150度前後まで加熱した飴液にりんごを丸ごとくぐらせて作ります。冷えると硬くパリッとした食感になるのが特徴です。

第5問

答え：1番「ぽい」

解説：金魚すくいを使う薄い和紙を張った丸い道具を「ぽい」といいます。水に濡れると破れやすく、それが金魚すくいの難しさでもあります。「ぽい」という名前の由来は諸説あり、「ほい(はい)」が訛ったという説や、すくう動作の擬音という説などがあります。

第6問

答え：2番「大阪府」

解説：たこ焼きは1935年(昭和10年)頃、大阪の屋台商・遠藤留吉(えんどうとめきち)氏が考案したとされています。明石の「明石焼き」にヒントを得て、醤油ベースのソースをかけるスタイルで広めたといわれています。大阪を代表するソウルフードとして全国に広まりました。

第7問

答え：4番「茨城県・土浦全国花火競技大会」

解説：日本三大花火大会は「大曲の花火(秋田)」「長岡まつり大花火大会(新潟)」「土浦全国花火競技大会(茨城)」の3つとされています。隅田川花火大会は江戸時代から続く歴史ある大会ですが、「三大」には入っていません。なお、土浦と大曲は全国の花火師が技を競う競技大会としても有名です。

第8問

答え：2番「7月」

解説：祇園祭は毎年7月1日から31日まで、京都・八坂神社を中心に行われる日本を代表するお祭りです。とくに7月17日の「山鉾巡行(やまほこじゅんこう)」は有名で、豪華な装飾を施した山鉾が京都の街を練り歩きます。平安時代の869年に疫病退散を祈って始まったとされる、1100年以上の歴史を持つお祭りです。

第9問

答え：1番「ねぶた」

解説：青森市の「青森ねぶた祭り」では武者絵などを描いた立体的な大型灯籠を「ねぶた」と呼びます。なお、弘前市の「弘前ねぶた祭り」は「ねぶた」と表記が異なり、扇形の山車が特徴です。どちらも毎年8月上旬に開催され、東北を代表する夏まつりとして多くの観光客が訪れます。

第10問

答え：1番「直径が約30センチ(1尺)の花火玉」

解説：「尺玉」とは直径が1尺(約30センチ)の花火玉のことです。打ち上げると直径約300メートルにも及ぶ大輪の花を夜空に咲かせます。さらに大きい「二尺玉」「四尺玉」になると、夜空いっぱいに広がる圧巻の迫力で観客を魅了します。大曲の花火大会などで見ることができます。